

クリニックレター 2020年10月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

患者様へのお願い

- #) 新型コロナ感染症拡大防止の為に、発熱その他感冒様症状の患者様は、来院前に必ずお電話で症状をお伝えください。また、受付カウンターに顔認識体温測定器を設置しました。来院の患者様は、受付の際に、ご自身で体温チェックをしていただくよう、ご協力をお願いいたします。
- #) 待合スペースに自動血圧計を設置していますので、診察前にご自分での血圧測定をお願いいたします。看護師による問診時の血圧測定は、原則としておこないません。操作方法についてはご遠慮なくスタッフにお聞きください。

今シーズン、インフルエンザワクチン予防接種をお勧めする理由

今年の十五夜は、雲一つない夜空にまんまるお月様、その少し東に火星、西には木星が輝き、この冬からの新型コロナ感染症の蔓延で痛めつけられた心が少し透明感を取り戻したような心地がしました。しかし、決して油断をしてはなりません。

今年も10月からインフルエンザワクチンの予防接種が始まりました。毎年予防接種を受けておられる方も多いのですが、中には、「今まで（予防接種は）受けたことがありません」という方もおられます。もちろん、個人の考え方もあり、強制するものではないのですが、今年に限っては、ぜひ、皆さまに予防接種を受けていただきたいと思えます。

その理由は以下の通りです。

1) インフルエンザに罹患して病院に行くことで、COVID-19に感染するリスクがふえる。・・・これは言うまでもないことですが、当院のような慢性疾患の多い診療所とは違い、応急診療所のように急性疾患の多い医療機関では他の感染症に罹患するリスクも多くなります。また、それが怖いからとインフルエンザに罹っても受診を控えることで、インフルエンザやその他の持病が重症化する可能性もあります。

2) インフルエンザとCOVID-19に重複感染すると、重症化の恐れがある。

インフルエンザにかかったからCOVID-19は大丈夫、ということはありません。免疫の暴走や、肺炎の重複などの可能性も考えられます。リスク要因は一つでも減らすことが大事です。

3) インフルエンザの正確な診断ができない恐れがある。

発熱、咳などの症状だけでは、COVID-19とインフルエンザや普通の風邪との区別はつきません。診断には咽喉頭ぬぐい液による検査（インフルエンザの場合は簡易検査、COVID-19の場合はPCR法）が必要ですが、もしCOVID-19であった場合に、検査によって医療従事者に感染が蔓延する可能性があるため、一般の診療所ではインフルエンザの検査を控える傾向にあります。このためにインフルエンザであっても的確な診断ができない



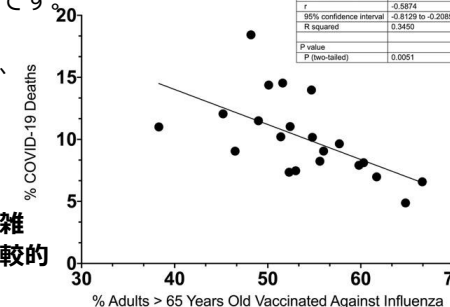
ことも予想されるのです。

4) インフルエンザワクチンを接種したグループではCOVID-19が重症化しにくかった、という報告がある。

これが重要なポイントなのですが、「65歳以上のイタリア人の中で、インフルエンザワクチンの予防接種を受けた人のほうが、予防接種を受けなかった人よりもCOVID-19による死亡率が、低い傾向にあった」という内容の論文が今年6月に出了ました。

右下のグラフの縦軸がCOVID-19による死亡率で、横軸が65歳以上でインフルエンザの予防接種を受けた人の割合です。これが、特に65歳以上の方は予防接種を受けたほうがCOVID-19の重症化を予防する、という論説の根拠となっているのです。

	Percentage >65 vaccinated vs. % COVID-19 deaths
Pearson r	-0.5874
r	-0.8129 to -0.2085
R squared	0.3450
P value	0.0051
P (two-tailed)	



これらの理由により、今シーズンはぜひ、インフルエンザワクチンの予防接種を受けられることをお勧めします。なお、診察室の混雑を防ぐため、予防接種の日時については、比較的予約の少ない日をご利用いただくようお勧めすることがございますので、どうぞその趣旨をご理解ください。

最近の話題

ごく最近知った文献ですが、「ネアンデルタール人の遺伝子とCOVID-19の重症化が関連している可能性がある」という話題です。これまでは旧人類であるネアンデルタール人の絶滅後に今の人類（ホモサピエンス）が出現したと考えられていたのですが、実は、ホモサピエンスの中にネアンデルタールの遺伝子が混じっていることが最近の研究で分かりました。（過去のどこかの時点で交配が行われたと考えられます。）この事は、今年前半に放映された「NHKスペシャル：人類誕生」で取り上げられ、私もたまたまこの番組を見て興味を持ったのですが、ごく最近、沖縄科学技術大学院大学のグループが、「COVID-19を重症化させる遺伝子領域がネアンデルタールの遺伝子とほぼ同じであること。この遺伝子領域を持つ割合は、インドやバングラディシュなど南アジアの人たちに最も多く、ヨーロッパでは16%前後だが、日本や中国などの東アジア人ではほとんどこの遺伝子が認められない」ということを科学雑誌ネイチャーに投稿しました。

The ancient Neanderthal hand in severe COVID-19 Nature Sep 30

* 「NHK スペシャル：人類誕生」は12月にも再放送があるようです。

#) 休診及診療日変更のお知らせ

11月2日(月)を休診とさせていただきます。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようお願いいたします。駐車場でのアイドリングもおやめください。

クリニックレターのバックナンバーをお読みになりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。